９８．山陰道（さんいんどう）―唐櫃越（からとごえ）・老ノ坂（おいのさか）

選定箇所：下園尾町（京都府京都市）～篠町山本（亀岡市）、老ノ坂～篠町王子（亀岡市）

概要：唐櫃越は中世から丹波国と京都を結ぶ幹線道路であり、『太平記』にも登場する。如意寺、葉室山浄住寺など、古刹が数多くあり、往時の状況を良好にとどめている。老ノ坂はかつて足利尊氏や明智光秀も通った道とされ、貝原益軒の『西北紀行』でも景勝地として記される。首塚大明神や山陰道の道標が今も残る。

老ノ坂（写真提供：亀岡市）